

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい に ほん

第1回

だい かい

「塾」

じゅく

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、中等教育機関や高等教育機関で日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業に活用できるかを提案していきます。今回は「塾」について書かれた新聞記事を取り上げます。

〈塾とは〉

じゅく

著作権の関係で掲載ができません。

ちよさくけん かんけい けいさい

著作権の関係で掲載ができません。

ちよさくけん かんけい けいさい

日本には、学校の勉強を補う民間の教育機関があり、それらは塾、予備校と呼ばれています。学校の授業についていけない児童、生徒のための補習を目的としたものと、高いレベルの学校への進学を目的としたものがあります。このような「勉強」を目的とした塾の他に、ピアノや絵画、習字、柔道などを「お稽古ごと」として教える機関もありますが、ここでは、勉強を目的とした塾について少しふれます。

塾の数は年々増え、今では一大教育産業となっています。最近では通塾率が高くなるだけでなく、塾通いの低年齢化も進み、私立小学校受験の幼稚園児を対象にした塾まで出てきました。進学率の伸び（平成7年度統計によると、高校進学率は約96%、短大・大学進学率は約40%）や、それに伴う受験競争の過熱、いじめなど学校が抱える問題などがその背景にあると考えられます。

〈新聞から〉

しんぶん

次に紹介する新聞記事は、1997年12月に行われた「塾」についての調査結果を取り上げたものです。塾に通っている
児童・生徒、またその親が「塾」に関してどういう意見をもっているのか見てみましょう。

日本経済新聞（朝刊）1998年4月25日「塾は学校より分かる」

毎日新聞（朝刊）1998年4月25日「中3の64%塾通い」

読売新聞（朝刊）1998年4月25日「塾通い「疲れる」中3、40%超す」

『日本語教育通信』1999年1月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第1回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

記事を使った練習案

前のページの記事を使った練習を考えてみます。今回はグラフを活用した練習を取り上げます。

グラフの読み取り

- ・グラフのタイトルを隠して、それぞれどんな質問をしたときの答えをまとめたグラフだと思うか考える。
→ P13の〈ワークシート2〉-1

記事の内容理解

- ・グラフと記事を別々にして、記事内容と関係のあるグラフを探す。 → P13の〈ワークシート2〉-3
- ・グラフに関して説明している記事の部分を探す。 → P13の〈ワークシート2〉-4 (1)
- ・記事を書いた記者の解釈の違いを読み取る。 → P13の〈ワークシート2〉-5

説明表現の練習

- ・記事で使っている統計説明の表現を使ってグラフを説明したり説明記事を書いたりする。
→ P13の〈ワークシート2〉-4 (2)

〈ワークシート1〉

グラフ

記事

日本経済新聞（朝刊）1998年4月25日「塾は学校より分かる」

毎日新聞（朝刊）1998年4月25日「中3の64%塾通い」

読売新聞（朝刊）1998年4月25日「塾通い「疲れる」中3、40%超す」

『日本語教育通信』1999年1月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第1回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

〈ワークシート2〉

●まず記事を読む前にグラフを見てみましょう。

1. グラフ①、②、③は塾についてのアンケート調査の結果をまとめたものです。それぞれ、どんな質問についてのグラフか考えてください。

①. _____ ②. _____ ③. _____

●新聞記事を読んで答えましょう。

2. 記事①～③は同じ調査結果に基づいて書かれています。どんな調査か、次の点について教えてください。

調査者：_____ 調査時期：_____年_____月 調査対象（人数）：_____

3. グラフ①、②に関係がある記事は①～③のうち、どれですか。

①. _____ ②. _____

4. グラフ③を見て教えてください。

1) 記事①と③の中でグラフ③と関係がある箇所はどこですか。

2) 記事②の〈ア〉はグラフ③について説明している箇所です。適当な言葉を入れ文章を完成してください。

_____は学習塾に通い、_____に比べ_____ことが_____。

5. 記事①と③では、記者の調査結果の解釈の仕方に違いがあります。どんな違いがあるか考えてみましょう。

解答例：

様々な答えが考えられますが、ここでは典型的な例を挙げておきます。

1. ①. なぜ塾に行きたくないのですか。 ②. 塾の授業はよくわかりますか。 ③. 塾に通ったことがありますか。

2. 調査者：日本PTA全国協議会 調査時期：1997年12月
調査対象：全国の小学校6年生と中学校3年生（約4,000人）と、保護者（親）、教師、塾講師（約4,900人）

3. ①. ③ ②. ①

4. (1) ①「通塾率は小六が43.2%、中三が64.3%。中三の通塾率は10年前より約20ポイント増加しており、塾通りが一般化している実体がうかがえる。」

③「通塾率は、小六で43.2%、中三で64.3%。中三では十年間で19.4ポイントも上昇した。」

(2) 中三の64.3%は学習塾に通い、10年前に比べ約20ポイント増加していることが日本PTA全国協議会の調査でわかった。

5. ①は塾に対する肯定的な見方が読みとれる。③は塾通いのマイナス面を強調している。

このコーナーに関してご意見ご要望がありましたら、編集部までお寄せください。

このコーナーの担当者＝坪山由美子、長坂水晶（日本語国際センター専任講師）